

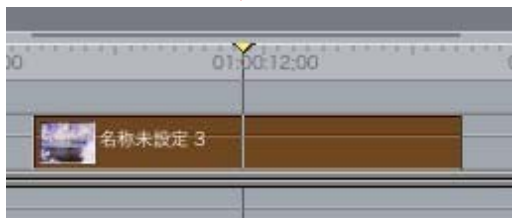
FxScript Trial

MultiMove+

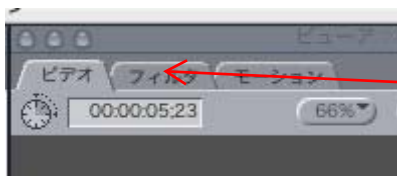
- ・ フィルターの設定
- ・ プラグの機能
- ・ ナビゲーション機能の解説

Filterの設置

まずプラグをライブラリー→Application Support→Final Cut Pro System Support →Plugins に入れる。
そしてFCPを立ち上げる。（プラグは起動したときしか読まない）

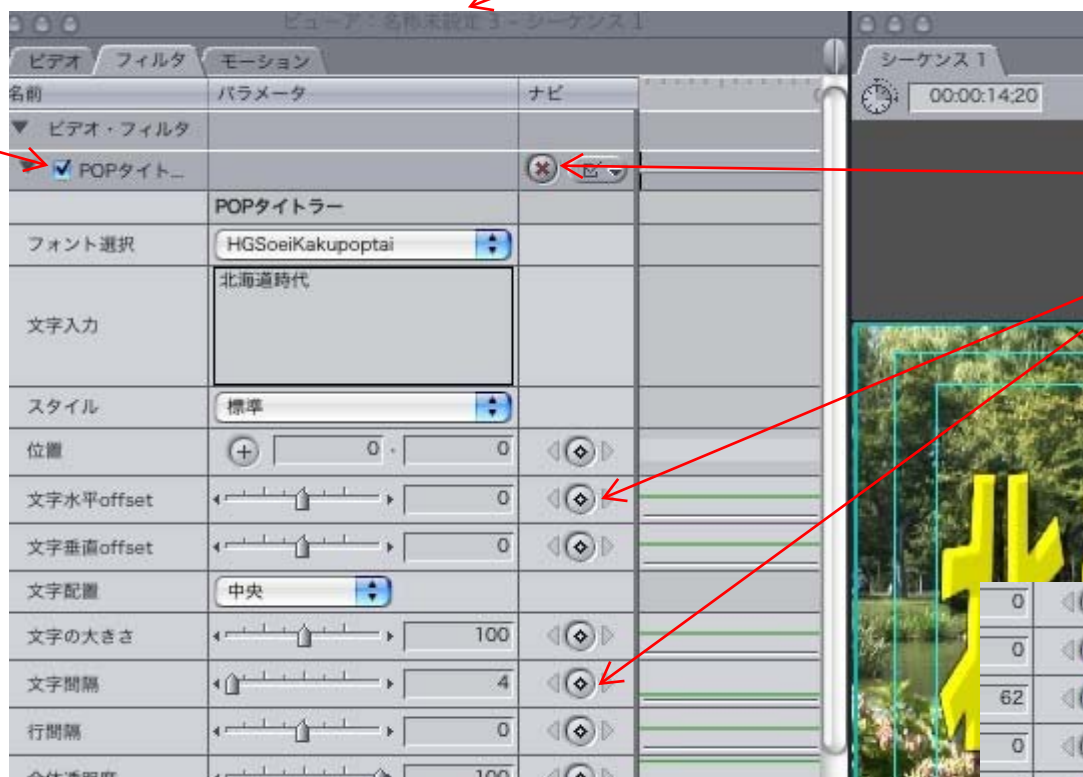


次にシーケンス上の映像をクリックして上方のエフェクト内のフィルターを選びFxScript Trial内の効果を選択する。



フィルターがセットされたのでビューアーのフィルターを押す。

ここを押すと効果がパスされる



ナビゲーション

ここを押すとナビゲーションの設定が全部クリアされる

項目ごとに設定

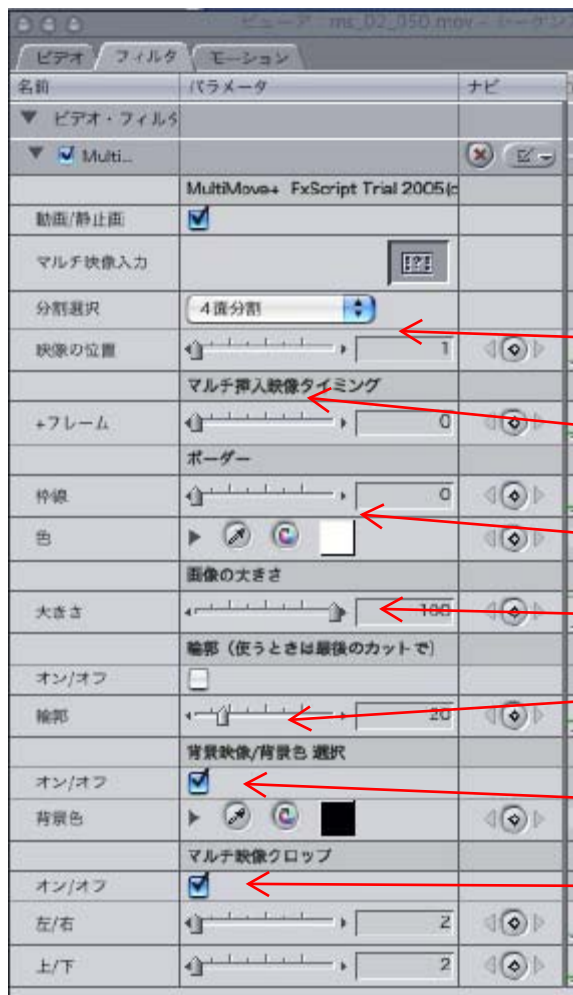
シーケンスの映像の進み具合に応じて数値を変化させる。これでレンダリングをかけると連続的に効果が変化する。



画像に設定されたプラグ

MultiMove+

作業に時間のかかるプラグです。ご注意ください



1	2	3
4	5	6
7	8	9

左は9面分割時の映像位置の設定番号です。マルチ・ムーブは全ての映像を分割して動かすプラグです。分割の数だけプラグを重ねていく作業をしなければなりませんから効果を作り上げるプランがしっかりしていないと時間を消耗することになりますので注意が必要です。

分割は4面～36面までの分割ができます。映像の位置は左から右の順です

挿入映像のタイミング・オフセットができますがチャプターされた頭からオフセットなので頭が長いとオフセットの範囲を超えますので注意が必要です。

枠線と色を設定できます。

大きさは枠内の映像が縮小されます。

輪郭は全体にかかる設定ですので最初から全てにかけると最初の絵がその分だけ輪郭が累乗されますので注意が必要です。

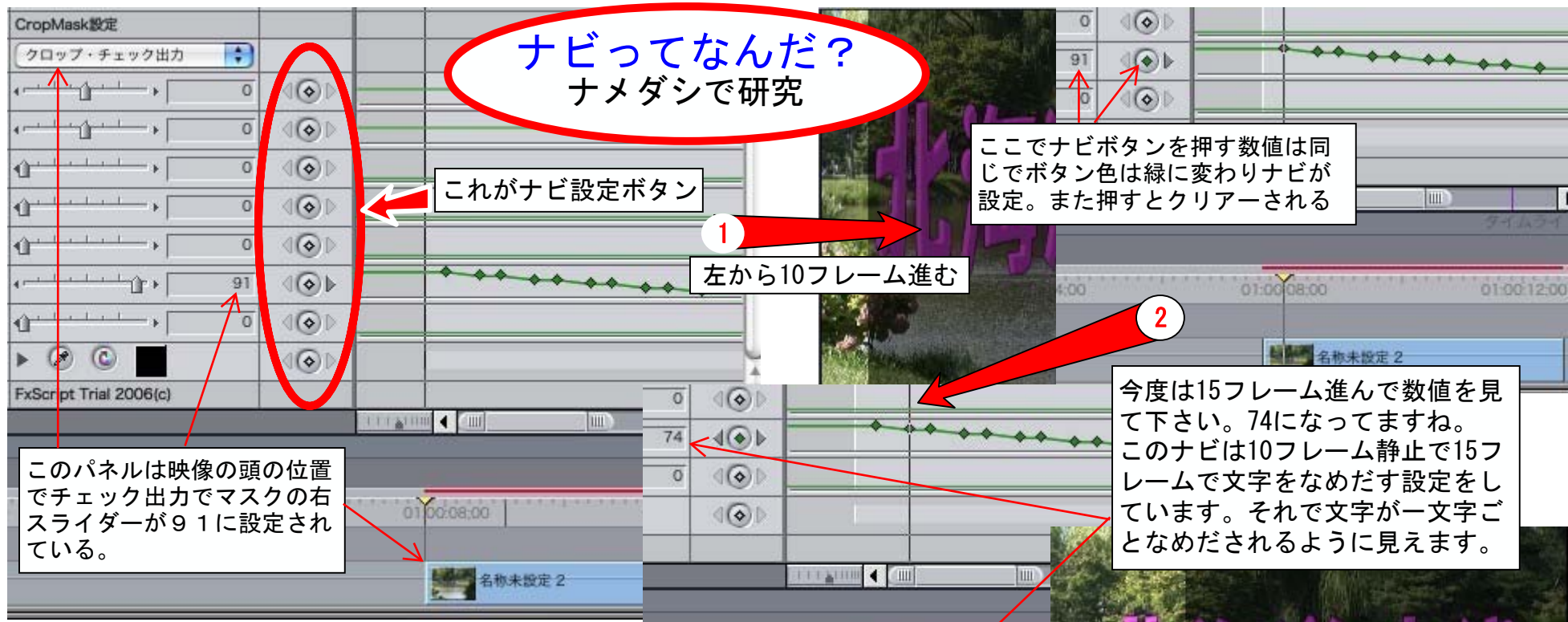
タイミングをズラして出す場合は背景が問題になりますが下地の映像か背景色の選択ができます。

この効果はブランキングのH期間が丸見えになりますのでクロップはオンの状態にしないと分割された映像の縁に黒が出る事があります。

このプラグは絵の劣化を防ぐため非圧縮でレンダリングをかけた吐き出したクリップを素材としてお使い下さい

デモ映像とご購入はここをクリック

FxScript Trial



ナビってなんだ？
ナメダシで研究

これがナビ設定ボタン

1
左から10フレーム進む

ここでナビボタンを押す数値は同じでボタン色は緑に変わりナビが設定。また押すとクリアされる

2

今度は15フレーム進んで数値を見て下さい。74になってますね。このナビは10フレーム静止で15フレームで文字をなめだす設定をしています。それで文字が一文字ごとなめだされるように見えます。

このパネルは映像の頭の位置でチェック出力でマスクの右スライダーが91に設定されている。

右のタイミングをそのまま進めて最後の一文字まで行った設定。数値が24.5まで変化しているのがわかります。

3

デモ映像を見る
クリック



ナビゲーションの説明

ナビは最初にボタンを押したら設定モードに入り時間軸を進めるに従い数値を変化させるかナビボタンを押すことで設定されます設定が終わったらレンダリングをかけるとポイント、ポイントのキーフレーム（ナビで設定した位置）間が自動的に計算され動きが連続して見ることが出来るようになります。

フィルター系のプラグでナビボタンのあるものは全てナビ設定が出来、連続して効果をコントロールすることができます。